

安全・安心のために 同報無線の充実な活用を



質問者
鍵和田 貴実代 議員

松田町では、同報無線（町より一斉放送を行う情報伝達機器）が町内24ヶ所に設置されており、ますが、地域により「聞き取りづらい」、「雨の日や窓を締めた室内では聞こえない」との声が多くあります。各家庭に設置できる戸別受信機設置補助（本体購入45,360円のうち個人負担額10,360円）も行ってありますが、普及できておりません。

安全・安心の町づくりのために、町内どこにいても情報が聞けるよう、次のことをお伺いします。

① 全世界帯の戸別受信機の設置数は。

② 学校、集会施設など

には設置してありますが、町民が多く利用する金融機関や店舗等に設置するお考えは。

A アナログ方式からデジタル化を検討

回答（町長）



① 松田幼稚園・松田小学校・松田中学校・松田町体育館・寄幼稚園・寄小学校・寄中学校に計7台・地域集会施設等24台、自治会長宅26台、消防本団分団長宅12台、一般家庭128台の合計197台が設置されています。



同報無線の基地局操作盤

② 平成元年度にアナログ無線電波方式で整備されたが、総務省の指針により、平成13年度からデジタル無線電波方式が可能となり、現在のアナログ方式の戸別受信機の受注生産が終了したため、今すぐには金融機関や店舗等に戸別受信機の新規設置の対応ができない。今後の対応として、町あんしんメール登録周知、テレホンサービス、神奈川テレビ等のデータ放送を活用し情報提供を行う。さらに、デジタル化や何らかの戸別受信機と替わるものがあるか調査し、早めに周知できるようにする。

議員行政視察報告

有害鳥獣は地域全体で追い払うのが基本!

平成27年6月24日(水) 参加議員…寺嶋正・鈴木眞徳・鍵和田貴実代・齋藤永・利根川茂・中野博



行政視察の様子



現在、全国各地の課題である「有害鳥獣」対策について学ぶため、埼玉県秩父市を訪問したので、その概要を報告する。

秩父市は、群馬・山梨・長野・東京と県境を接し、平成17年4月1日に旧秩父市と他1町2村が合併した市です。人口6万5741人、市域面積577.83km²で、地域の87%は山林という山深い、秩父盆地にある。

冬は寒く、夏は涼しくキャンプやラフティングで賑わうところでもあり市内には、神社・仏閣が

あふれ、特に名物である「秩父の夜祭」は全国的に有名である。

農政課長の説明によると、市内の専業農家は、1700戸であり、主に水田やソバ畑が中心であり、他にいちご園13箇所・ぶどう園20箇所程度が営業している。秩父市の政策は、観光農業に力を入れている。

有害鳥獣の農作物被害金額は、平成20年度が4000万円（届け出のない分も相当ある）あり、平成26年度は、これの70%減少している。

特に、夏野菜・柚子・柿・梅等を鳥獣が食べると、栄養価が高く死亡率は下がり、繁殖率が高くなり、人間を恐れなくなる。

1匹（頭）が人里に入れば、倍々ゲームで数が多くなる。対策は、地域全体で追い払う事でありそれ以外はないとのことであった。

（記）利根川茂

一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。